

## 東成・生野周辺で観察された生き物調査報告書 コース No.23

報告者:北川ちえこ

日時:2016年2月14日(日)10:00~15:30 晴れ

調査者:北川ちえこ、忍喜博、中谷憲一、中道陽子、梶元慶子、松川欣二(6名)、一般参加者1名

事務局:柳沼宣裕

コース:地下鉄「北巽駅」~加美巽川~巽公園~舍利寺小学校~生野中央公園~御勝山南公園~御勝山古墳・マップ No.1

事務局・柳沼さんには、以前の調査で気がつかなかった町並みの面白い所を色々見つけていただき、楽しい調査となりました。その一つ、今どき珍しい板塀の平屋の横に小さな墓地があり、その入口に「俱會一處」の文字の墓碑がありました。老人会の名前がありましたので、スマホで検索すると「あの世でまた会いましょう」ということらしいのです。街中でこのような墓碑を見るのは初めてでしたが、気がつかないだけかもしれません。そして、墓参りの人が入れ替わり来られるのも土地柄かなあと思いました。記念橋の所で、加美巽川の水がいったん途切れ、サイホンのような装置で水を吸い上げて、橋の向うに送っていました。ほんの何メートル先の所に平野川分水路があるのに、なぜこんな装置で水を渡すのか不思議でしたが、護岸工事のためでしょう。加美巽川には市がつくった植栽地に実生の樹木がいろいろ生えてきていて、元の樹木が無くなったり、共生したり、いろんな種類の樹木が育っていて面白かったです。後の巽公園や御勝山公園などは、管理が行き届き、これまでの調査とあまり変化はありませんでした。御勝山古墳も、たくさん生えていたハリエンジュ(産業管理外来種)の実生が無くなり、きれいになっていました。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※樹木は花や果実のあるもの、又は特筆すべき種のみ記録しました。

メッシュ No.の後の( )内は旧みどり生き物会議で使用したメッシュ番号です。

No.513574744(620)

地下鉄「北巽駅」~加美巽川「矢柄橋」

アカネ科…コクチナシ 1(植)

キク科…チチコグサモドキ 2、ノボロギク 1

ケシ科…ナガミヒナゲシ 1

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1

バラ科…シャリンバイ 3(植)

動物…クロヒラタアブ 4、コスナゴミムシダマシ 4、

ヤドリバエの一種 4

矢柄橋~下女辻橋

カタバミ科…ムラサキカタバミ 1

キク科…アメリカオニアザミ 1

シソ科…ホトケノザ 1

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、ミドリハコベ 1



コスナゴミムシダマシ  
160214 撮影 梶元慶子

No.513574743(619)

下女辻橋~記念橋(植栽樹木:クチナシ、シモクレン、ヤマモモ)

アブラナ科…スイートアリッサム 2(植)、ナズナ 2

イネ科…スズメノカタビラ 2

カタバミ科…アカカタバミ 2、カタバミ 1、ムラサキカタバミ 1

キク科…セイタカアワダチソウ 1、ノゲシ 1、ノボロギク 1、ヨモギ 1

キョウチクトウ科…ツルニチニチソウ 2(植)

クスノキ科…クスノキ 4

ケシ科…ナガミヒナゲシ 1

シソ科…ホトケノザ 1

スイカズラ科…サンゴジュ 1

ダイダイゴケ科…ツブダイダイゴケ 1

ツバキ科…サザンカ 2、ヤブツバキ 2(植)、  
ヤブツバキ 1,2

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1、  
ミドリハコベ 1

ニレ科…アキニレ 4、エノキ 4、ムクノキ 4

バラ科…ヒマラヤトキワサンザシ?3、ビワ 1,3

ヒガンバナ科…ヒガンバナ 1

フサンダ科…カニクサ 1

ミカン科…キンカン 3(植)、レモン 3(植)

モクセイ科…トウネズミモチ 3(植)、トウネズミモチ 1、ヒイラギ 2

ユリ科…アスパラガス 3(植)、タカサゴユリ 3

動物…ドバト 4、ハシボソガラス 4,0 声、鳥の巣 0(ヤマモモに)、イトカメムシ 4、オオスカシバ 1、キタキチョウ 4、キマダラカメムシ 4、キムネクマバチ 1 巣跡、クロヒラタアブ 4、ハモグリバエの一種 0 幼虫の食痕(ミカンに)、ヒラタアブの一種 4、ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後の繭、ネコハグモ 0 巣



矢柄橋:コンクリの片隅にも、オランダミミナグサ、チチコグサモドキ、ノボロギクが生えていました。

160214 撮影 北川ちえこ



加美巽川沿いの植栽は前の住宅によりそれぞれ趣が違います。160214 撮影 北川ちえこ



レモンにはしっかりネットがかぶさっていました。消火器の横にあるのはタバコの吸殻入れ?

160214 撮影 北川ちえこ



川にこのような柵があるのも珍しいと事務局の柳沼さんが言っておられました。

加美巽川:160214 撮影 北川ちえこ



板塀の平屋(墓地の休憩所?)を見つけなければ、隣の墓地は気がつかないでしょう。小さな墓地ですが入れ変わり参拝者が訪れていました。ここで見つけた「倶會一處」の墓碑。何だろうと興味津々立ち話が続きました。

160214 撮影 北川ちえこ





イトカメムシ 160214 撮影 中谷憲一



オオスカシバ卵  
160214 撮影 中谷憲一



キマダラカメムシ 160214 撮影 榎元慶子



ドバト(西足代橋)  
160214 撮影 北川ちえこ



元タクチナシが植栽されていたと思われませんが、観葉植物のようなものが生えていました。この筋は元の植栽ものに混ざりニレ科(主にエノキ、ムクノキ、アキニレ)など鳥が運んだと思われる実生がたくさん見られ、定着していました。  
160214 撮影 北川ちえこ



クロヒラタアブ 160214 撮影 中谷憲一



ヤマモモの枝にキムネクマバチの巣穴  
160214 撮影 榎元慶子

記念橋～下丁之田橋(平野川分水路)

- アカネ科…ヤエムグラ 1
- アブラナ科…ナズナ 2
- イネ科…キク科 sp2、スズメノカタビラ 2、ノボロギク 1
- カタバミ科…オッタチカタバミ 1
- ケシ科…ナガミヒナゲシ 1
- シソ科…ホトケノザ 1
- ナデシコ科…コハコベ 1
- マタタビ科…キウイ 0 落葉(逸出、フェンスに巻き付いている)
- 動物…アオサギ 4、カワウ 4、スズメ4、ハクセキレイ 4、ヒドリガモ 4



ネコハグモの巣 160214 撮影 中谷憲一





記念橋の東(左写真)と西(右写真):加美巽川は護岸工事中で、水位の調整のために、サイホンで西側の水門に流していました。160214 撮影 北川ちえこ



巽橋南側水管橋

アオサギとカワウが岸に立ち(白矢印)、ヒドリガモが水面にいた(黒矢印)。平野川分水路 160214 撮影 榎元慶子



ハクセキレイが水面をホバリングしたのは、川面を飛ぶユスリカを食べていたのか? 平野川分水路下丁之田橋から 160214 撮影 榎元慶子



逸出?したキウイ:フェンスに取りついているかのようです。フェンスの内側でキウイが植栽されました。160214 撮影 北川ちえこ



オッタチカタバミ:キウイのツルの中からはい上がるかのように伸びていました。5,60cmはあったでしょうか。160214 撮影 北川ちえこ

巽公園

- アブラナ科…カラクサナズナ 1、マメゲンバイナズナ 1
- イネ科…スズメノカタビラ 2
- キク科…ウラジロチチコグサ 1、キヌゲチチコグサ 1、チチコグサモドキ 2、ノゲシ 2
- シソ科…ホトケノザ 1
- ツバキ科…オトメツバキ 2(植)、カンツバキ 2(植)
- ナス科…イヌホオズキ 1
- ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1
- ヒガンバナ科…スイセン 2(植)
- 動物…スズメ 4、ドバト 4

No.513574734(618)

巽公園

- 動物…アオフトメイガ 0 幼虫の巣跡



アオフトメイガ幼虫の巣跡 160214 撮影 中谷憲一

No.513574743(619)

巽公園南歩道

- キク科…セイタカアワダチソウ 1、ヨモギ 1
- イネ科…エノコログサ 3
- 動物…スズメ 4、ツグミ 4



この一角も大阪市所有で公園になるようです。  
奥の方にツグミがいました。  
160214 撮影 北川ちえこ(左)、榎元慶子(右)

No.513574734(618)

- アオイ科…ウサギアオイ 1
- アカネ科…ヘクソカズラ 3、ヤエムグラ 1
- アブラナ科…マメゲンバイナズナ 1
- イネ科…イヌムギ 1、スズメノカタビラ 2
- カタバミ科…カタバミ 2、ムラサキカタバミ 1
- キク科…オニタビラコ 1、ノゲシ 1,2、ノボロギク 1
- ケシ科…ナガミヒナゲシ 1
- シソ科…ホトケノザ 1,2
- タデ科…アレチギシギシ 1
- ナデシコ科…コハコベ 1
- バラ科…ノイバラ 1
- 動物…チシャミドリアブラムシ?4

巽公園西歩道

- カタバミ科…ムラサキカタバミ 1
- キク科…オニタビラコ 2

巽公園～巽西公園～御幸森天神宮御旅所

- アカネ科…ヤエムグラ 1
- アブラナ科…ナズナ 3
- イネ科…エノコログサ 3、スズメノカタビラ 2
- カタバミ科…カタバミ 1
- キク科…アメリカオニアザミ 1、ウラジロチチコグサ 1、チチコグサモドキ 1、ノボロギク 2、ヒメジョオン 1、ヒメムカシヨモギ 1
- シソ科…ホトケノザ 1



チシャミドリアブラムシ? 160214 撮影 中谷憲一



ジンチョウゲ科…ジンチョウゲ 2(植)  
 タデ科…アレチギシギシ 1、ヒメツルソバ 3  
 ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1、  
 ミドリハコベ 1  
 バラ科…ボケ 2(植)  
 ヒガンバナ科…ヒガンバナ 1

御幸森天神宮御旅所～舍利寺小学校  
 ～生野中央公園

アブラナ科…イヌガラシ 2、スイートアリッサム 2(植)  
 イネ科…スズメノカタビラ 2  
 キク科…ウラジロチチヨグサ 1、オニタビラコ 2、  
 クソニンジン 1、ノゲシ 1、チチヨグサモドキ 2、ノゲシ 1、  
 マメカミツレ 2  
 クマツヅラ科…ランタナ 2,3(植)  
 ケシ科…ナガミヒナゲシ 1  
 シソ科…ホトケノザ 1  
 スミレ科…ビオラ 2(植)  
 ダイダイゴケ科…ツブダイダイゴケ 1  
 ツバキ科…カンツバキ 2(植)、ヤブツバキ 2(植)  
 トウダイグサ科…コニシキソウ 1、ナガエコミカンソウ 3  
 ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1、  
 ツメクサ 1,2、ミドリハコベ 1  
 バラ科…バラ 2(植)  
 ヒガンバナ科…スイセン 2(植)  
 フウロソウ科…アメリカフウロ 1  
 ムラサキ科…キュウリグサ 1  
 動物…ハクセキレイ 4、ミシシッピーアカミミガメ 4、カスミカメムシの一種 4、ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後の繭



アメリカオニアザミ:民家の玄関前の植栽地に生えていました。市内調査をしていて、たびたび見ます。  
 160214 撮影 北川ちえこ



今里筋御幸森天神宮お旅所前交差点  
 160214 撮影 北川ちえこ



カスミカメムシの一種 160214 撮影 中谷憲一



平野川:中谷さんは欄干の外側に落ちていた帽子を、網棒で拾ってあげようとしたが無理でした。ここではミシシッピーアカミミガメを見つけました。  
 160214 撮影 北川ちえこ

御勝山南公園

アブラナ科…マメゲンバイナズナ 1  
 カタバミ科…ムラサキカタバミ 1  
 キク科…マメカミツレ 1  
 シソ科…ホトケノザ 1  
 ヒガンバナ科…ヒガンバナ 1

No.513574831 (586)

御勝山南公園(樹木:アキニレ、アジサイ、イスノキ、イチヨウ、ウバメガシ、カイヅカイブキ、カボック、ギンドロ(※今回落葉状態で分からなかったが 前回の調査で記録している)、クスノキ、クロマツ、ケヤキ、サクラ、サンゴジュ、シマナンヨウスギ?, シャリンバイ、シラカシ、ツツジ、トウネズミモチ、ハナツクバネウツギ、ハマヒサカキ、ヒイラギナンテン、モッコク)

- カタバミ科…オオキバナカタバミ 2(植)、ムラサキカタバミ 1
- キク科…ウラジロチチコグサ 1,2、オオアレチノギク 1、チチコグサモドキ 1、ノボロギク 1、ノゲシ 1
- ナス科…イヌホオズキ 2
- フウロソウ科…アメリカフウロ 1
- メギ科…ヒイラギナンテン 2(植)
- 動物…クマゼミ 0 羽化殻

### 御勝山公園

- アカネ科…ヘクソカズラ 3、ヤエムグラ 1
- アブラナ科…カラクサナズナ 1
- イネ科…イヌムギ 2、シマスズメノヒエ 3、スズメノカタビラ 2
- カタバミ科…カタバミ 1、ムラサキカタバミ 1
- キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 1、オオアレチノギク 1、セイタカハハコグサ 2、チチコグサモドキ 2、ノゲシ 1、マメカミツレ 1、ヨモギ 1
- ケシ科…ナガミヒナゲシ 1
- ゴマノハグサ科…タチイヌノフグリ 1
- シソ科…ヒメオドリコソウ 2、ホトケノザ 1,2
- セリ科…ヤブジラミ 1
- ツバキ科…カンツバキ 2(植)
- トウダイグサ科…ナガエコミカンソウ 3
- トベラ科…トベラ 3(植)
- ナス科…イヌホオズキ 1
- ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、ミドリハコベ 1



シマナンヨウスギ?: 前回、種名不明だった杉の仲間でしたが、中道さんの見立てでシマナンヨウスギではないかということでした。鶴見緑地に植栽されているものと似ているような気もします。ここのはまだ小さいです。3年前とあまり変わっていないように思いました。

160214 撮影 北川ちえこ(上)、榎元慶子(下)



カラクサナズナ:花があればわかる。葉をちぎると、独特の臭いでわかる  
160214 撮影 榎元慶子



マメカミツレ:花があればわかる。葉はカラクサナズナやメリケントキンソウにも似ていて、見分けがむずかしい。  
160214 撮影 榎元慶子



御勝山古墳の中

キク科…ノゲシ 1

ゴマノハグサ科…タチイヌノフグリ 1

シソ科…ホトケノザ 1

ナデシコ科…コハコベ 1

動物…ウグイス 0 声、キジバト 4、ヒヨドリ 0 声



スズメノカタビラ: 生野中央公園  
大きい個体だったので、同定に時間がかかった。  
オオスズメノカタビラなのかイチゴツナギなのか  
葉舌の形や花の雰囲気をよく観察した。  
160214 撮影 榎元慶子



スズメノカタビラ: 生野中央公園  
茎を抱く葉の付け根を開いて、  
葉舌の形を見るが、くるくる巻いてしまって、  
形状がわかりにくい。刃物で広げているところ。  
160214 撮影 榎元慶子



セイタカハハコグサ: 御勝山古墳外周南  
160214 撮影 榎元慶子



スズメノカタビラの花: 生野中央公園  
黄色のおしべが出ている。毛は少ない。  
160214 撮影 榎元慶子



スズメノカタビラ: 生野中央公園  
葉舌の先は広げるととがっておらず、  
花の様子もあわせてスズメノカタビラと判断した。  
160214 撮影 榎元慶子